

令和2年7月豪雨からの復旧・復興

道路事業の取組

令和2年7月豪雨により被災した八代市～人吉市間の球磨川沿いの道路については、流失した橋梁10橋を含む国道219号や熊本県道等の約100kmを対象に国の権限代行により災害復旧事業を進めています。令和5年2月に西瀬橋、令和7年3月に沖鶴橋の新橋架設が完了し、現在、残る8橋の上部工工事を進めるとともに、国道219号をはじめとする道路の復旧や、かさ上げ工事を進めています。引き続き、一日も早い復旧を目指して、全力で取り組んでまいります。



TEC-FORCEの取組

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)は、平成20年4月に創設され、大規模自然災害が発生し自治体職員だけでは対応が困難な場合に、いち早く被災地へ出向き、被災自治体を支援しています。

令和6年能登半島地震への対応

UAV(ドローン)での被災状況調査(石川県珠洲市)



給水機能付き散水車による給水支援(石川県志賀町)



令和6年7月大雨への対応

国道386号三郎丸橋の被災状況調査(大分県日田市)



令和6年台風10号への対応

市道の被災状況調査・道路啓開(鹿児島県出水市)

